
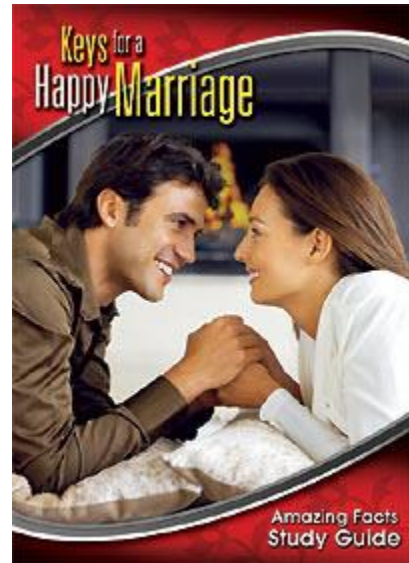


5. 幸せな結婚への鍵

このページのプリント 

おそらくあなたがすでに聞いているように、今日、結婚全体の半数は離婚に至っており、悲惨な配偶者と、困惑した子供を残すという結果となっています。このような悲劇があなたに起こらないようにしましょう！ あなたの結婚生活が困難な状況にあるのか、あるいは、幸せな結婚生活であるのか、またはこれから結婚することを考えているのかわかりませんが、ここにあなたの結婚生活を長続きさせることのできる費用のかからない確実な助言、勧告があります。これは結婚を制定され、聖別された神様から直接に来ているものです。この案内書に書かれている勧告に従って行ってください、そうするときに、あなたのご家庭の幸福が守られることでしょう。

神の偉大な書物による幸福な結婚のための 17 の原則



1. あなたの個人的な家庭を築き上げること



たとえそれが一部屋のアパートであっても、あなた自身の家庭を築きなさい。

「それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。」創世記 2:24

答え： 神の規則は、具体的に明確です。経済的な面で、一室限りのアパートしか借りることができなくても、結婚した夫婦は、彼らの父と母を離れて、彼ら自身の家庭を築き上げることが大切です。このような方針に関しては夫と妻がともに決心すべきです。そして、妻はその決心を自分の親戚に報告し、夫は彼の親戚に報告すべきです。だれがどのように強く反対しても二人は自分たちの決心に固く留まるべきです。もし、この原則を守るならば、何千という離婚が防がれたはずですよ。

2. 婚約時代のような恋愛関係を続けましょう。



神ご自身があなたがたを結び合わせたことを決して忘れてはなりません。

「何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。」ペテロの第一の手紙 4:8
「その夫もまた彼女をほめたたえ」箴言 31:28 「結婚した婦人はこの世のことに心をくばって、どうかして夫を喜ばせようとする。」コリント人への第一の手紙 7:34 「兄弟の愛をもって互にいつくしみ、進んで互に尊敬し合いなさい。」ローマ人への手紙 12:10

答え： 婚約時代のロマンスを、結婚した後も続ける(もしくは復活させる)ことです。幸福な結婚生活は偶然にやってくるものではありません、それはお互いに築き上げていくものなのです。お互いの存在が当たり前になり、単調な生活が続くと、結婚生活の破綻という結果になりかねません。お互いに愛を表現することにより愛が深まっていかなければ、やがて愛情は失せるか、または薄れていきます。愛と幸せは、自分のためにそれを見つけないとすることによって得られません。むしろ、ほかの人に与えることによって得ることができるのです。ですから可能ならば、できる限り一緒に時間を過ごすことです。情熱を持ってお互いに挨拶をかわすことを学びましょう。一緒にくつろぎ、旅行し、買い物に行き、観光や食事をしましょう。小さな贈り物や親切な行為などによってお互いが予期しなかったようなことをしてみましょう。そして次の言葉を試してください。「お互いの愛を上回るように」努力しましょう。あなたが結婚生活に注ぎ込んでいること以上に、そこから取り出さないようにしましょう。離婚自体は、結婚の最大の破壊者ではなく、むしろ、愛の欠乏がそうなのです。愛にチャンスを与えましょう、必ず勝利します。

3. 神があなたがたを、結婚によって結び合わされたことを覚えていてください。

「それゆえに、人は父母を離れ、その妻と結ばれ、... 彼らはもはや、ふたりではなく一体である。だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない。」マタイによる福音書 19:5, 6

答え： あなたの家庭から愛が消えかかっていますか？ 家庭崩壊者で名高い悪魔が、その張本人です。神ご自身があなたがたを結婚において結び合わされたのであり、あなたがたが共に結婚生活を続け、幸せであることを定められたという事実を覚えるべきです。あなたが神の聖なる規則（十戒）を守るならば、神はあなたがたの人生に幸せと愛をもたらされます。「人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない。」マタイによる福音書 19:26 絶望的になる必要はありません。宣教師たちの心に、粗野ならぬ病人に愛を与えることがおできになる神は、もしあなたが神にお任せするならば、お互いのために容易に愛を与えることがおできになります。



小さな贈り物で、お互いに思いがけない喜びを与え合おう。

4. あなたの思想を守り、感覚に感わされないように注意しましょう。

「彼が心で思うことが、彼自身である。」箴言 23:7（欽定訳聖書）「あなたは... 隣人の妻... をむさぼってはならない。」出エジプト記 20:17 「油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。」箴言 4:23 「すべて真実なこと... すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと... また徳といわれるもの... それらのものを心にためなさい。」ピリピ人への手紙 4:8



間違った思想は、あなたの結婚生活を破綻させる。

答え： 間違った思想は結婚生活を破綻させます。悪魔は、「私たちの結婚は間違っていたんだ」、「彼女は私を理解していないんだ」、「これ以上は耐えられない」、「もし必要ならいつでも離婚できるのだ」、「母のところに戻ろう」、「主人はあの女性に微笑んだ」、というような思想を用いて、あなたをわなの中に捕らえます。これらの思想を抱かないようにしましょう、そうでなければあなたの結婚は破綻してしまいます。なぜなら、これらの思想はあなたの感覚を支配して、それが行動として現れるからです。たとえそれがだれであっても、また、何であっても、不純、不道德なもの、不忠実や不誠実なことが示唆されているものは、見ることも、語ることも、読むことも、聞くことも、すべて避けましょう。抑制されていない思想は、車のギアをニュートラルに入れて坂を下るようなもので、どんなことでも起こりうるのです。そしてその結果は常に大いなるわざわいです。

5. お互いが怒った状態のまま、決して就寝しないようにしましょう。

「憤ったままで、日が暮れるようであってはならない。」エペソ人への手紙 4:26 「互いに罪を告白し合い... なさい。」ヤコブの手紙 5:16 「すなわち、後のものを忘れ、」ピリピ人への手紙 3:13 「互いに親切で優しい者になりなさい、神がキリストにあってあなたがたをゆるして下さったように、あなたがたも互いにゆるし合いなさい。」エペソ人への手紙 4:32（欽定訳聖書）

答え： 大小にかかわらず、傷つけられたことや悲しみに対して、憎しみや怒りを抱き続けることは非常に危険です。それをすぐに解決しなければ、小さい問題でさえ信念や考え方として心の中に定着し、人生観すべてに悪影響を及ぼします。そのために神は、就寝する前に怒りを沈めなさいと言われるのです。相手を許し、心から「ごめんなさい」と言える大きな心を持ちましょう。結局、完全な人はだれもいないのですから、あなたがた二人もその仲間であるということです。ですから過ちを犯してしまったときは、スポーツマンのような大きな心で自分の過ちを認めることができるように努めましょう。それに加え、私たちが持ち合わせていない力によって夫婦が親しく結ぶ仲直りの経験は非常に心地良いものです。神がそうするようにとっておられます！ そしてそれは可能なのです！



互いのために声を出して折りなさい。

6. キリストに、あなたの家庭の中心に留まっていただきましょう。

「主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤労はむなし。」詩篇 127:1 「すべての道で主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」箴言 3:6 「そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いを、キリスト・イエスにあって守るであろう。」ピリピ人への手紙 4:7

答え： これは最高の規則です。この規則はほかのすべての事柄に当てはまります。キリストを最初におきましょう！ 家庭における真の幸せの秘訣は、駆け引きや作戦、また問題を克服するためのひたむきな努力などではなく、むしろキリストとの結合です。キリストの愛に満たされた心と心は決して遠く離れ合うことはありません。家庭にキリストのご臨在があるならば、結婚は成功します。憎しみ、苦々しさ、失望などで満ちているすべての結婚生活の癒しは福音です。それは奇跡的に愛と幸せを回復することによって、何千という離婚を防ぎます。あなたが喜んでキリストの福音を受け入れるならば、あなたの結婚生活における危機をも救うことができるのです。



キリストがあなたの心の中、また家庭の中に宿る時、結婚は成功する。

7. 夫婦共に祈りましょう。

「誘惑に陥らないように、... 祈っていないさい。心は熱しているが、肉体が弱いのである。」マタイによる福音書 26:41 「お互いのために祈りなさい。」ヤコブの手紙 5:16 「あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、... 願ひ求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。」ヤコブの手紙 1:5

答え： 声を出してお互いのために祈りましょう！ これは想像をはるかに超えた成功をもたらすばらしい原則です。神の前にひざまずいて、お互いへの真の愛を、夫婦とともに祈りましょう。ゆるし、力、知恵、また、問題への解決などを祈り求めましょう。神への祈りは答えられることを、神ご自身が保証してくださっています。祈る人は、自動的にその人の短所がみな癒されるというのではなくて、その人は正しくありたいと願う心を持つようになります。神の助けを熱心に、心から共に祈り合う間は、どの家庭も決して崩壊することはありません。

8. 離婚は問題の解決にはならないということをご承知ください。

「だから、神が合わされたものを、人は離してはならない。」マタイによる福音書 19:6 「不品行のゆえでなくて、自分の妻を出して他の女をめとする者は、姦淫を行うのである。」マタイによる福音書 19:9 「すなわち、夫のある女は、夫が生きている間は、律法によって彼につながれている。」ローマ人への手紙 7:2

答え： 聖書で明確にされていますが、結婚の絆は不動で不変のもので、離婚は、姦淫の場合に限ってゆるされます。しかしそれであっても離婚は命令されておらず、許可されているだけです。たとえ不道徳に陥ったとしても、ゆるすことは離婚にまざっています。結婚の絆は生涯にわたるものです。それは神がエデンの園において最初の結婚式を執り行われたときに、結婚をそのように定められました。結婚問題の解決は離婚であるという考えは、どのような結婚でも破綻してしまいます。これがキリストが離婚をお認めにならない理由のひとつです。離婚は常に人生が台無しになり、ほとんどの場合、決して問題の解決とはなりません。それどころか、離婚はもっと大きな問題を引き起こしますので、決して解決法の選択として考えるべきではありません。離婚は心に傷を負い、挫折と不幸を味わい、歪んだ人生が必ずといっていいほどつきまとい、この人生における成功そのものでさえ往々にして阻まれてしまいます。神は人々の純潔と幸福を守り、また、彼らの社会的な必要を備え、そして肉体的、精神的、また道徳的な性質を高めるために、結婚を制定されました。結婚の誓いは、人が考える以上に、最も厳肅で拘束力のある義務の一つです。軽率に結婚の誓いを破棄することは、自らを神の好意と祝福から退けてしまうという結果になりかねません。



許しは常に離婚にまざる。

9. 夫婦関係の問題は固く閉ざしておくべきです。

「あなたは姦淫してはならない。」出エジプト記 20:14 「その夫の心は彼女を信頼して、... 彼女は生きながらえている間、その夫のために良いことをして、悪いことをしない。」箴言 31:11, 12 「これは主があなたと、あなたの若い時の妻との間の、契約の証人だったからである。... あなたは彼女を裏切った。」マラキ書 2:14 「これはあなたを守って、悪い女に近づかせず、... 彼女の麗しさを心に慕ってはならない。そのまぶたに捕らえられてはならない。... 人は火をそのふところにおいてその着物が焼かれないうであろうか。... その隣の妻と不義を行う者も、それと同じだ。すべて彼女に触れる者は罰を免れることはない。」箴言 6:24-29

答え： 夫婦間の愛情関係については、決してほかの人々に、たとえ両親であっても語ってはなりません。神の与えられたこの規則を破ることは、大きな罪であり、惨事です。当事者以外の人が同情したり、彼らの不平を聞くことは、夫と妻の心を不仲にさせ、お互いを遠ざけるための悪魔の道具です。あなたの家庭の問題は個人的に解決するように努めましょう。牧師やマリッジカウンセラーなどの専門家を除いて、だれも他人の家庭問題に関わるべきではありません。常にお互いに対して忠実であり、お互いに秘密を持たないことです。自分の妻や夫の感情を害するような冗談を言うてはなりません。積極的にお互いをかばい合い、夫婦間のことに関して邪魔をするようなすべてものは厳格に遮断しましょう。また、不倫に関して申し上げたいことは(マリッジカウンセラーがどのようなことを述べようとも)、不倫はあなたと、それに関係するすべての人々を常に傷つけます。私たちの心、体、また感情的な仕組みをよくご存知(また、私たちに益となるか害になるかもご存じ)であられる神が、「(姦淫を)してはならない」と命じておられるのです。神の定められた規則を無視する人々は、最大の報いを受けることになってしまいます。ですから、もし配偶者以外の人に対して浮ついた気持ちが出てしまったならば、すぐさまそれを断ち切りましょう。そうでなければ逃れることができない暗闇があなたの人生に留まることになってしまいます。

10. 神は愛について説明しておられます。それにかかった生活をするを日々の目標としましょう。

「愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。不義を喜ばないで真理を喜ぶ。そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。」コリント人への第一の手紙 13:4-7

答え：上記の聖句を、もう一度じっくりと読んでください。これが神が述べられる真の愛です。あなたはこの聖句にかかった愛を持っているでしょうか？ 愛とは感傷的な衝動ではなく、人生のすべての局面に関わる聖なる原則です。真の愛があるならば、あなたの結婚生活は破綻することはありません。真の愛なくしての幸福な結婚はありません。



本当の愛があれば、あなたの結婚は失敗することがない。

11. 批判や口やかましい小言は、愛を消滅させてしまうことを覚えていきましょう。

「夫たる者よ、妻を愛しなさい。つらくあたってはいけない。」コロサイ人への手紙 3:19 「争い怒る女と共にあるよりは、荒野に住むほうがましだ。」箴言 21:19 「雨の降る日に雨漏りの絶えないのと、争い好きな女とは同じだ。」箴言 27:15 「なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか？」マタイによる福音書 7:3 「愛は寛容であり、愛は情け深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない。」コリント人への第一の手紙 13:4 「愛は ... 建設的な道を探し求める。」コリントへの第一の手紙 フィリップ翻訳*



あなたの伴侶を、良い人にするよりもむしろ、幸せな人にするように心がけよう。

答え：批判したり、がみがみ言ったり、あつさがしすることを止めましょう。あなたの妻、あるいは夫は欠陥を多く持っているかもしれません。しかし、がみがみ言うことは何の助けにもなりません。完全を期待することはやめましょう。そうでなければ、苦しい気持ちが生じるからです。短所はなるべく見過ごして、長所を探そうにしましょう。相手を変えようとしたり、支配や屈服させようとしたりすることはやめましょう。それらは愛を消滅させてしまうでしょう。人の心を変えることができるのは神だけです。快活な心、ユーモアのセンス、親切、忍耐、愛情などは、あなたの結婚問題の三分の二を追究してくれるでしょう。相手を良い人間にしようとするよりは、むしろ相手を幸せにすることに努力しましょう。そうすれば、幸せになった人は、次第に良い人にもなっていくことでしょう。結婚生活の成功の秘訣は、自分にぴったりの相手を持つというよりも、自分がぴったりの相手になってあげるということに基づいています。

*Reprinted with the permission of Macmillan Publishing Company from *The New Testament in Modern English*, Revised Edition by J. B. Phillips, (C) 1958,

1960, 1972 by J. B. Phillips.

The New Testament in Modern English by J. B. Phillips. Reprinted by permission of Harper-Collins Publishers Limited.

12. すべてのことにおいて節度を保ちましょう。節制を実行してください。



愉快で楽しい健全な時間を、ともに過ごすことを学ぼう。

「しかし、すべて競技をする者は、何事にも節制をする。」コリント人への第一の手紙 9:25 「愛は、... 自分の利益を求めない」コリント人への第一の手紙 13:5 「だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにするべきである。」コリント人への第一の手紙 10:31 「自分のからだを打ちたたいて、服従させるのである。」コリント人への第一の手紙 9:27 「働こうとしない者は、食べることもしてはならない。」テサロニケ第二の手紙 3:10 「すべての人は、結婚を重んずべきである。また寝床を汚してはならない。」ヘブル人への手紙 13:4 「あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて、その情欲に従わせることをせず、また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。」ローマ人への手紙 6:12, 13

答え：節度を越えることは、結婚生活を台無しにしてしまいます。けじめのない生活も同じことです。仕事、愛、休息、運動、遊び、礼拝、食事、社交などは、結婚生活において注意深く、バランス良くなされるべきです。そうでなければ、何かが崩れます。働き過ぎ、睡眠不足、必要な食物の欠乏、運動不足などは、人を批判的で、短気、悲観的にします。絶えず過食をすることは、大きな悪であって、下等な性質を助長し、良心を鈍らせます。性的行為の過剰は、聖なる事柄に対する愛を失い、活力や体力を弱めます。結婚は、性的乱用の免許にはなりません。下等で、卑劣で、不節制な性的行為は、お互いへの尊敬と愛を減ぼします。節制を伴う性的行為は、聖書の中（コリント人への第一の手紙 7:3-7）で奨励されております。また、他の人々との社会的接触は絶対的に必要です。真の幸せは、孤立生活の中には見出せません。私たちは共に笑い、喜び合う健全な時を持つことを学ぶべきです。あまりにぎすぎすし過ぎることは危険です。すべての事において、節度を越えること、またはけじめのなさは、精神、肉体、良心、愛する能力、お互いへの尊敬などを弱めます。不節制があなたの結婚生活を台無しにしないように注意しましょう。

13. お互いの個人的な権利とプライバシーを尊重しましょう

「愛は寛容であり、... ねたむことをしない。... 誇らない。無作法をしない。... 不義を喜ばないで真理を喜ぶ。... すべてを信じ。」コリント人への第一の手紙 13:4-7 「兄弟の愛をもって互いにつくしみ、進んで互いに尊敬しあいなさい。」ローマ人への手紙 12:10

答え：夫と妻は両方とも、説明を要しない、神が与えられたある種の個人特有の権利を持っています。相手が許可しない限り、相手の財布、郵便物、かばん、またそのほかの個人的なものを探らないようにしましょう。何かに没頭しているときは、個人のプライバシーと沈黙の権利が尊重されるべきです。夫も妻も、時には間違ってしまう権利があり、また間違っても、だれからも厳しく問い詰められない「物事がうまくいかない日」を持つ権利もあるのです。結婚相手は、お互いを所有せず、決して相手の性格や個性を変えようと強いるべきではありません。それらを変えることができるのは神だけであって、私たちすべては、このことに関して神に個人的に答えなければなりません（ローマ人への手紙 14:12）。お互いを完全に信頼して信用し、そして、お互いを探り合ったりしないことは、幸福のためには絶対不可欠です。お互いを探り当てることに時間を費やすことは控えて、もっと相手を喜ばせることに時間をかけましょう。これは驚くほどすばらしい成果をもたらします。



許可なしに互いの財布や、他の個人的な所有物を勝手に探ってはいけません。

14. 清潔、簡素、質素、整頓を実行し、礼儀正しくありましょう。

「また、女はつまましい身なりをし、適度に慎ましく身を飾るべきであって、」モモテへの第一の手紙 2:9 「彼女は... それを仕上げる。」「彼女はまた夜の明けぬうちに起きて、その家のものの食べ物を備え、」「彼女はよく家のことをかえりみ、怠りのかてを食することをしない。」箴言 31:13, 15, 27 「おのれを清く保て。」イザヤ書 52:11 「すべてのことを適宜に、かつ秩序を正して行うがよい。」コリント人への第一の手紙 14:40 「もしある人が、... 自分の家族をかえりみない場合には、その信仰を捨てたことになるのであって、不信者以上にわるい。」テモテへの第一の手紙 5:8 「怠ることがなく、」ヘブル人への手紙 6:12

答え：怠惰、乱雑、不潔、不精などは、あなたへの尊敬の念を失わせ、お互いへの愛情を無くすためのサタン（悪魔）の武器であり、そのために結婚が破綻してしまいます。こざっぱりした派手でない服装、そして清潔で、きちんとした身なりは、夫と妻の両方にとって不可欠のものです。食事は健康的で、見た目にも美味しそうなるものを、いつも同じ時間に食べられるように整えましょう。家庭のすべての人に、平和と落ち着き、満足をもたらすために、家は清潔で、整頓されているべきです。家族の必要をまかなうことのできない怠惰で不精な夫は、その家族にとって災いであり、神を辱めることになるのです。これらのささいなことに思われる事柄に関する無関心が、何千という家庭を崩壊しています。



清潔で、整頓されている家は多くの家庭問題を解決する。

15. やさしく、穏やかに話すことを決心しましょう



荒々しく、怒った言葉は、「あなたを喜ばせたい」と望むあなたの配偶者の気持ちを押しつぶしてしまふ。

「柔らかない答えは憤りをとどめ、激しい言葉は怒りをひきおこす。」箴言 15:1 「愛する妻と共に楽しく暮らすのがよい。」伝道の書 9:9 「おとなとなった今は、幼な子らしいことを捨ててしまった。」コリント人への第一の手紙 13:11

答え：優しく語り、あなたの配偶者に対して親切にすることを自分自身に強いてください。非難されたときは、沈黙することが相手の怒りを静める一番の方法です。怒っているとき、疲れているとき、気落ちしているときなどになした決心は、いずれにしても信用できないものなので、リラックスして、怒りのさめるのを待つことが一番です。そして、あなたが語るときは、常に静かで優しくあるように務めましょう。激しく、怒りに満ちた言葉は、あなたの伴侶があなたを喜ばせたいという望みを押しつぶしてしまいます。

16. 賢く、理性を働かせて家庭経済設計を立てよう。

「愛は... ねたむことをしない（独占的ではない フィリップ翻訳*）。... 不作法をしない。自分の利益を求めない、」コリント人への第一の手紙 13:4, 5 「神は喜んで施す人を愛して下さるのである。」コリント人への第二の手紙 9:7

答え：結婚生活におけるすべての収入と所得は「あなたのもの」とか「わたしのもの」ではなく、「わたしたちのもの」であるべきです。外で働かない妻は、毎月決められた分の、食費、衣類などの買い物、またそのほかの出費の代金を夫からもらうべきです。夫はしぶしぶと不服な気持ちを抱くのではなく、快く差し出すべきです。夫も妻も、それぞれが望むときにはいつでも自由に、相手に説明することなく使えるように、同じ分量の少しのお金を持つべきです。けちな夫は、たいい妻を怒らせ浪費家にさせますが、同じように浪費家の夫も、妻をけちなにします。妻と夫が、相手の金銭の管理能力に確信が持てると、さらにお互いが实际的で効率的な経済を実行することができます。



金銭問題は話し合っ意見を一致させよう。

*Reprinted with the permission of Macmillan Publishing Company from *The New Testament in Modern English*, Revised Edition by J. B. Phillips, (C) 1958, 1960, 1972 by J. B. Phillips. *The New Testament in Modern English* by J. B. Phillips. Reprinted by permission of Harper-Collins Publishers Limited.

17. お互いに良く話し合い、自由に相談し合うべきです



夫婦共に話し合うことは、あなたの結婚生活を破壊させてしまう多くの失敗を回避する。

「愛は高ぶらない、誇らない、... いらだたない、」コリント人への第一の手紙 13:4, 5 「教訓を捨てる者はおのれの命を軽んじ、」箴言 15:32 「自分の目に自らを知恵ある者とする人を見るか。彼よりもかえって愚かな人に望みがある。」箴言 26:12

答え： 重要な決断をするときに、夫婦共に相談しあうことに加え、さらにいくつかのことがあなたの結婚生活を強め、確かなものにするすることができます。仕事を変えたり、家、車、ボート、家具、洋服、そしてそのほかの金銭の使用に関するすべてのことに、夫と妻両方が関わるべきであり、二人の意見を検討すべきです。夫婦共に話し合うことは、あなたの結婚生活を破壊させてしまう多くの失敗を回避することができます。もし、多くの相談と話し合いと心からの祈りの後に、まだお互いの意見が一致しない場合には、妻は夫の決心に同意すべきです。これに関しては聖書が明確に述べています（参：エペソ人への手紙 5:22-24）。

18. 私は、私の家庭を、天のみ使いたちが喜んで訪れるような所にしたいです。



答え：

- はい
 いいえ

質問

1. 喧嘩をした後、夫と妻のどちらが先に、自分の非を認めるべきですか？
ローマ人への手紙 15:1

正しい方がなすべきです！

2. 過干渉な義理の母に対して節度を定めるにあたっての提案はありますか？
テサロニケ人への第一の手紙 4:11

はい、あります！ 黙って、自分のすべきことに集中しましょう！ 「あなたがたに命じたように、静かにして(黙って) 自分の仕事に精を出し(おせっかいをせず)、自分の手を用いて働くことに努めなさい。」テサロニケ人への第一の手紙 4:11 (欽定訳聖書) 実際に、この規定はすべての義理の親たちにあてはまります。多くの結婚生活は、この地球の小さな天国であったかもしれないのに、義理の親たちによって地獄に変わってしまっています。すべての義理の親たちの義務は、新しく築き上げられた家庭に対して、まったく干渉しないことです。

3. 私の夫は神を信じませんが、私はクリスチャンになろうとしています。彼の影響は非常に悪いので、離婚すべきでしょうか？
コリント人への第一の手紙 7:12

離婚すべきではありません。コリント人への第一の手紙 7:12-14 とペテロ第一の手紙 3:1, 2 を読んでください。神は特別な答えをくださっています。

4. 私は夫に対して腹が立ったときには一緒に就寝しません。夫はそれは間違っていると言うのですが、そうなのでしょうか？
コリント人への第一の手紙 7:4

間違っています。神はコリント人への第一の手紙 7:4,5 で、この質問に対する明確な答えをくださっています。

5. 私の妻は、ほかの男性のところへ行ってしまいました。でも今は彼女は悔い改めて戻ってくることを望んでいます。私の牧師は彼女を受け入れるべきであると言いますが、神はそれを禁じておられるのではないですか？
マタイによる福音書 6:14

いいえ、まったく違います。神は姦淫の罪のために離婚をゆるされますが、しかし、離婚を命じてはおられません。ゆるしは常に離婚にまさり、そして常に適切な順序です。(マタイによる福音書 6:14,15 を参照)。離婚はあなたとあなたの子供たちの人生を深く傷つけ台無しにしまいます。彼女にもう一度チャンスを与えましょう！キリストが教えられた黄金率が、ここで適応されるのです(マタイによる福音書 7:2)。あなたとあなたの妻がお互いの人生をキリストにゆだねるとき、キリストは二人の結婚生活を、この上なく幸せなものとしてくださいます。決して遅すぎることはありません。

6. 男性がいつも私に対してなれなれしくしますが、どうすればいいのですか？
テサロニケ人への第一の手紙 5:22

あなたの振る舞いや行為に気をつけてください。神は、「あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい」とテサロニケ人への第一の手紙 5:22 で言うておられます。おそらくあなたの回りにいる男性たちに対するあなたの態度が、なれなれしい微笑み、みだらで慎みのない服装、いかかがわしい冗談、あるいは、あまりにもほぐれすぎて慎ましさに欠けているために、男性たちの次の行動を助長しているかもしれません。男性たちの道徳的清さを保つために、クリスチャンとして持つべき品位と高潔さがあります。キリストは、マタイによる福音書 5:16 で、「そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」と言われました。キリストが、あなたの人生で本当に輝き出るなら、あなたは悪い男性に言い寄られるなどの問題で、あまり悩むことはなくなるでしょう。

7. 罪の生活をしてきた人が、真に悔い改めたときに神がどのような助言をなさったのか単純明快に教えていただけますか？
ヨハネによる福音書 8:11

キリストはずっと昔、不徳の生活を悔い改めた人に、慰め深くありながらも明確に次のようにお答えになりました。「お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように」(ヨハネによる福音書 8:11) 主の助言は今日においても適用されるものです。

8. 離婚において、「無実の側」も、時にはいくらか悪いところがあるのではないですか？
サムエル記上 16:7

もちろんです。時に「無実の側」は、愛に欠け、思慮がなく、独善家で不親切、自己中心であり、口やかましく、冷淡で、妻や夫に悪の思いを起こし、それが助長し行動に発展していきます。ともすれば、「無実の側」は、神の目には、「誤っている側」と同じように罪深い場合があります。神は私たちの動機を見て、それによって判断されます。「わたしが見るところは人とは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る」サムエル記上 16:7

9. 身体的虐待を加える伴侶と共に生活していくことを神は望まれているのでしょうか？

身体的虐待は生命の危険をもたらすことがあるので深刻な問題であり、即座に対応することが求められます。身体的虐待を受けている伴侶とその家族は、安全に住むことができる環境を探さなければなりません。夫も妻も、クリスチャンマリッジカウンセラーとして資格のある専門家の助けを求めべきです。

クイズ

1. 結婚は (1)

- 神によって男女が生涯を通して結び合わされたもの。
- 二人がお互いにマッチするかどうかを試すための一時的な組み合わせ。
- 結婚は必要なし。男と女は自由に共に住むことができる。

2. 神が認められるただ一つの離婚の理由とは (1)

- お互いが不適格で合わない。
- 短気で怒りっぽい結婚相手
- 姦淫
- 神を認めない結婚相手

3. 恋愛中の作法は (1)

- 結婚した後も続けるべきである。
- 結婚式が終わるとすぐにやめてしまうべきである。
- それは無益で、必要のないものである。

4. 成功する結婚生活の一番の秘訣は (1)

- キリストを心と家庭の中に招くこと。
- 夫が妻を強いて一致させる。

妻が離婚を用いて夫を脅迫して自分の思い通りにことを運ぶ。

5. 口論になってしまったときの安全策は、下記のことを行う (3)

- お互いに静かに親切に態度で話し合う。
- 相手が自分の過ちを認めるように強いる。
- 物事を解決するのに隣の人を呼ぶ。
- 相手が黙っているようにと強いる。
- 家を出て、幾日か帰ってこない。
- 共にお祈りをする。
- 就寝前には怒りを鎮める。

6. 結婚生活における成功の秘訣にしるしをつけてください (2)

- 家族間の問題は、家族以外の人に話さない。
- あなたの両親と同居する。
- 怒ったときには、母親のところに逃げる。
- 仲良しの友だちに夫の過ちを言いふらす。
- 自分たち自身の家庭を築き上げる。
- 以前のボーイフレンドに相談する。
- 争った後には、決して先に謝らない。

7. あなたの伴侶を向上させる最上の方法は (2)

- 自分の思い通りにならないのなら家出をすると脅迫する。
- 小言を言い、批判する。
- あなた自身と、イエス・キリストとの関係を向上させる。
- あなたの伴侶に自分ひとりで寝てもらおう。
- 愛と感謝とゆるしの心を持つ。
- あなたの伴侶が変わるよう無理強いする。

8. 結婚生活に危機をもたらすものは (6)

- 批判的
- いやみを言う夫
- お金の欲に引かれた妻
- 怠惰
- クリスマス家庭
- 共に祈る
- 無秩序と不潔
- ゆるしの精神
- 嫉妬

9. 重大な決断が円滑に行われるためには (2)

- 夫と妻が共に相談し合う。
- 夫は、妻に自分の意思を強いる。
- 共に神を求めて祈る。
- 自分の意思を通すことを頑固に主張する。

10. 義理の親たちに対する最善の取り決めは (1)

- 余計なお節介をせず、新夫婦のことは彼らに任せる。
- 新夫婦が彼らと一緒に住むように強引に勧める。
- 新夫婦が望んでいようがいまいが、助言をする決心をする。

11. あなたの伴侶が不誠実な場合に成すべき最善のことは (1)

- すぐに家を出、二度と戻ってこない。
- あなたの結婚相手がどんなに「卑劣な」人間であるかをすぐに皆に話す。
- できる限り喜んでゆるし、あなたの家庭を保護する。

12. 思考を注意深く守るべきである、なぜなら (2)

- 不純な思想は、不純な行為を成すという結果をもたらすため。
- あなたの伴侶は、あなたの心を読むことができるため。
- 間違った思想は、結婚生活を破綻させることになるため。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.